

令和6年度 再評価調書

事業名	中山間地域農村活性化総合整備事業	地区・路線名	那賀川西部地区																											
事業主体	徳島県	関係市町村	阿南市																											
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、阿南市に位置する那賀川の中下流域に広がる中山間地域である。地区内では、水稻や野菜、果樹など複合的農業が営まれており、営農意欲のある農家が非常に多いという一方、近年は農業従事者の高齢化等により、農作物の生産効率の低下が進行している。</p> <p>このため、老朽化した用排水路の整備、農道の新設・改良といった農業生産基盤整備を行い、優良農地の保全、生産条件の改善や農業所得の向上を図るとともに、農業集落道の農村振興環境基盤整備を総合的に実施することで地域活性化や農業振興を図る。</p>																													
	<p>(事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>受益面積</td> <td>22.2ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益戸数</td> <td>120戸</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要工事</td> <td>農業用排水路</td> <td>1路線</td> <td>L=227m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農道</td> <td>2路線</td> <td>L=685m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農業集落道</td> <td>1路線</td> <td>L=394m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">476,000千円(国55%、県30%、市12.5%、地元2.5%)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="3">令和2年度～令和8年度</td> </tr> </table>			受益面積	22.2ha			受益戸数	120戸			主要工事	農業用排水路	1路線	L=227m		農道	2路線	L=685m		農業集落道	1路線	L=394m	総事業費	476,000千円(国55%、県30%、市12.5%、地元2.5%)			工期	令和2年度～令和8年度	
受益面積	22.2ha																													
受益戸数	120戸																													
主要工事	農業用排水路	1路線	L=227m																											
	農道	2路線	L=685m																											
	農業集落道	1路線	L=394m																											
総事業費	476,000千円(国55%、県30%、市12.5%、地元2.5%)																													
工期	令和2年度～令和8年度																													
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>令和5年度までに農業用排水路1路線227mが完成し、農業集落道1路線394m及び農道1路線270mを現在施工中である。 令和6年度末の事業費進捗率は76%となっている。</p>																													
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>特になし。</p>																													
項目	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域では、農業従事者の高齢化と後継者不足、農産物価格の低迷、電気料金・燃油価格及び資材費などの高騰により、営農状況は年々厳しくなっている。</p> <p>一方で、地域内の活性化団体「加茂谷元気なまちづくり会」による新規就農を核とした移住推進の取組(H25～)や、同会を事務局とした「加茂谷農村RMO推進協議会」の設立(R5～)による、農用地保全、地域資源活用及び地域活性化の取組が進んでおり、本事業により整備した生産基盤及び農村振興環境整備が営農労力節減や生活環境改善の面で寄与することが期待される。</p>																													
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし。</p>																													
目	<p>(費用対効果の分析)</p> <p>本事業の実施に伴い、農村集落道の農村振興環境整備を実施することにより走行経費等の節減、生活利便性の向上などの効果がみられ、農業経営の向上、生活環境改善が可能となる。</p> <p>総費用総便益比＝総便益(現在価値化)／総費用(現在価値化)＝1.05</p>																													
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>地元受益者や阿南市から事業の早期完成を要望されている。</p>																													
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>																													